

I 調査結果の概要

1 乳用牛の飼養動向

— 乳用牛経産牛

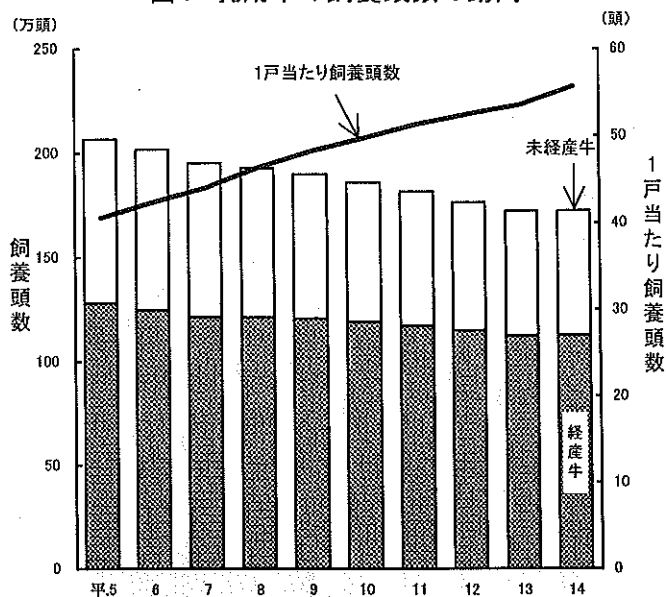
飼養頭数は112万6,000頭

平成14年2月1日現在の全国の乳用牛経産牛飼養頭数は、112万6,000頭で前年に比べ0.2%増加した。

また、未經産牛飼養頭数は59万9,000頭で前年に比べ0.2%減少した。

1戸当たりの飼養頭数は、BSE発生の影響による出荷頭数の減少等があったことにより、前年より2頭増加して56頭となった。

図1 乳用牛の飼養頭数の動向



資料：農林水産省統計部『畜産統計』、『家畜の飼養動向』による。

2 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

— 生乳生産量は1%増加 —

平成14年の生乳生産量は、838万5,280 tで前年に比べ1%増加した。

これは、北海道において、飼養頭数が増加したことに加え、夏の平均気温が低かったことにより、搾乳量が増加したためである。

図2 生乳生産量と用途別処理量

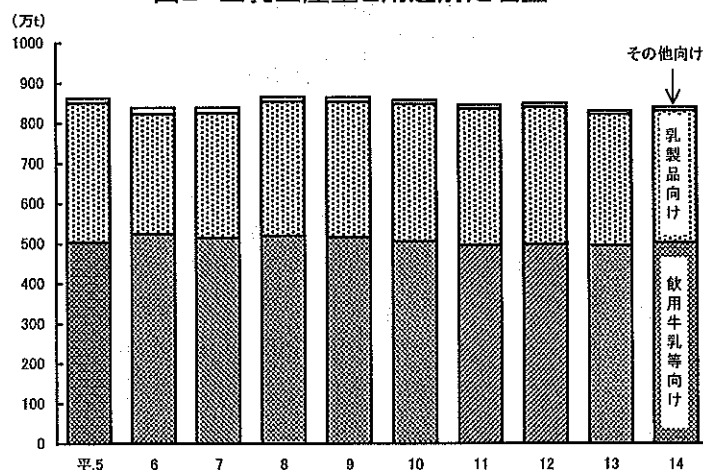
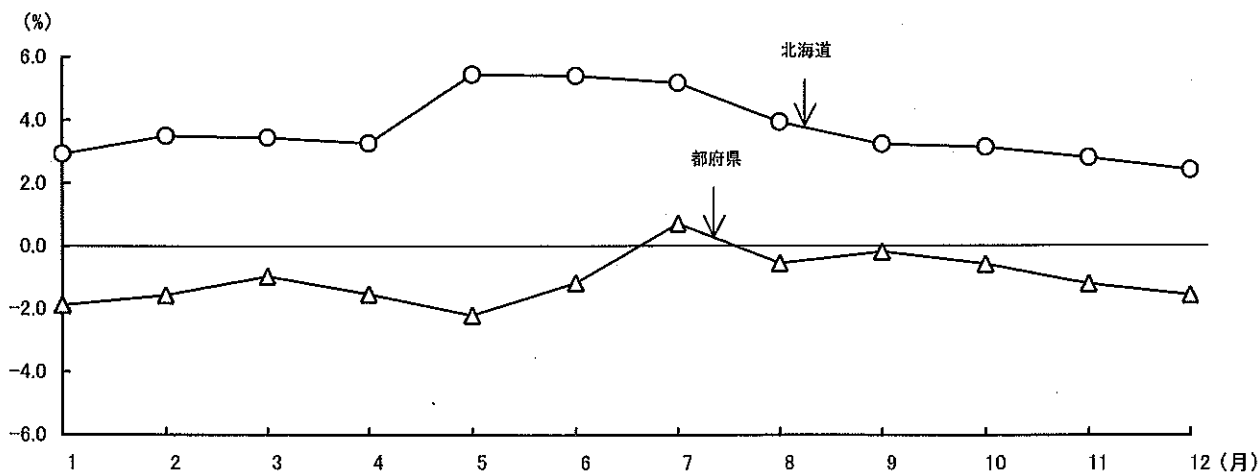


図3 生乳生産量の前年同月に対する増減率



(2) 農業地域別生乳生産量

— 北海道の生乳生産量シェアは45.0% —

生乳生産量を農業地域別にみると、北海道が377万5,960 t（全国に占める割合45.0%）で最も多く、次いで関東が132万7,918 t（同15.8%）、九州が79万9,071 t（同9.5%）となっている。

なお、この3地域で全国の約7割を占めている。

また、農業地域別に平成9年と生乳生産量を比べると、北海道では増加しているが、その他の地域では減少傾向にある。

図4 農業地域別生乳生産量シェア

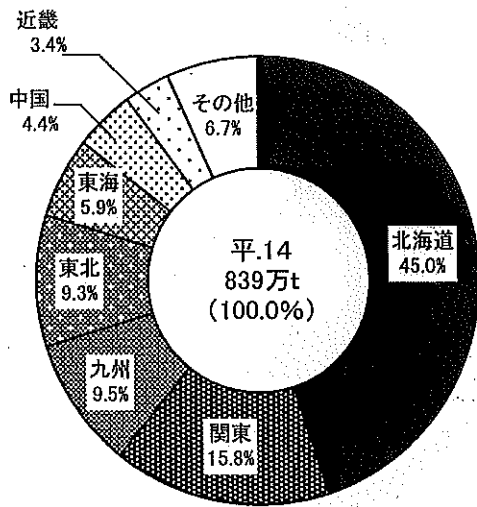
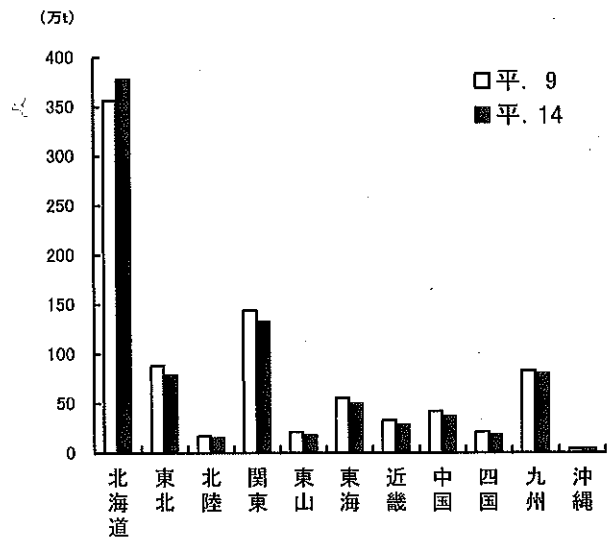


図5 農業地域別生乳生産量



(3) 用途別処理量

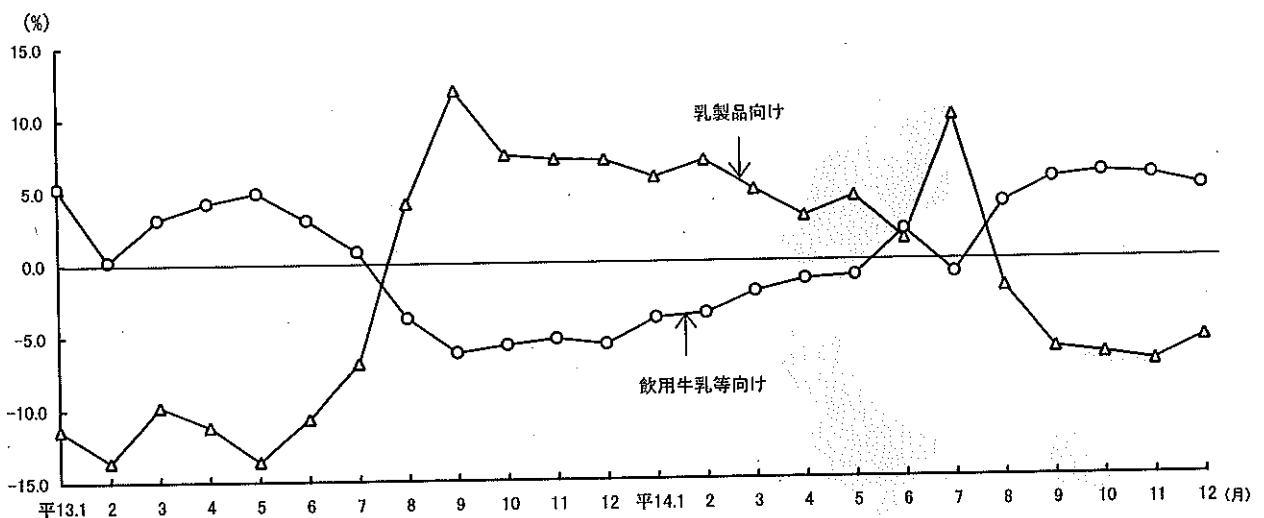
— 飲用牛乳等向け処理量は1.2%増加 —

生乳の用途別処理量をみると、飲用牛乳等向け処理量が500万2,265 tで前年に比べ1.2%増加した。

これは、生乳のみを使用した牛乳の需要が高まったことと、健康志向の高まりから、はっ酵乳の需要が増加したためである。

また、乳製品向け処理量は329万3,367tで、前年に比べ0.8%増加した。

図6 生乳用途別処理量の前年同月に対する増減率



第1表 生乳生産量と用途別処理量

単位 { 実数:t
対比:%

年次	実 数				対前年比		
	生乳生産量	用 途 別 処 理 量			生乳生産量	飲用牛乳等向け	乳製品向け
		飲用牛乳等向け	乳製品向け	その他向け			
平. 12	8 497 278	4 970 310	3 420 517	106 451	100.4	100.4	100.4
13	8 300 488	4 941 499	3 266 303	92 686	97.7	99.4	95.5
14	8 385 280	5 002 265	3 293 367	89 648	101.0	101.2	100.8

3 飲用牛乳等生産量及び乳製品生産量

(1) 飲用牛乳の生産量

— 飲用牛乳の生産量は1.2%減少 —

飲用牛乳（牛乳及び加工乳）の生産量は、439万9,302k1で前年に比べ1.2%減少した。

これは、牛乳は391万9,824k1で前年に比べ1.1%増加したが、加工乳が47万9,478k1で前年に比べ16.7%減少したためである。

図7 飲用牛乳生産量の推移

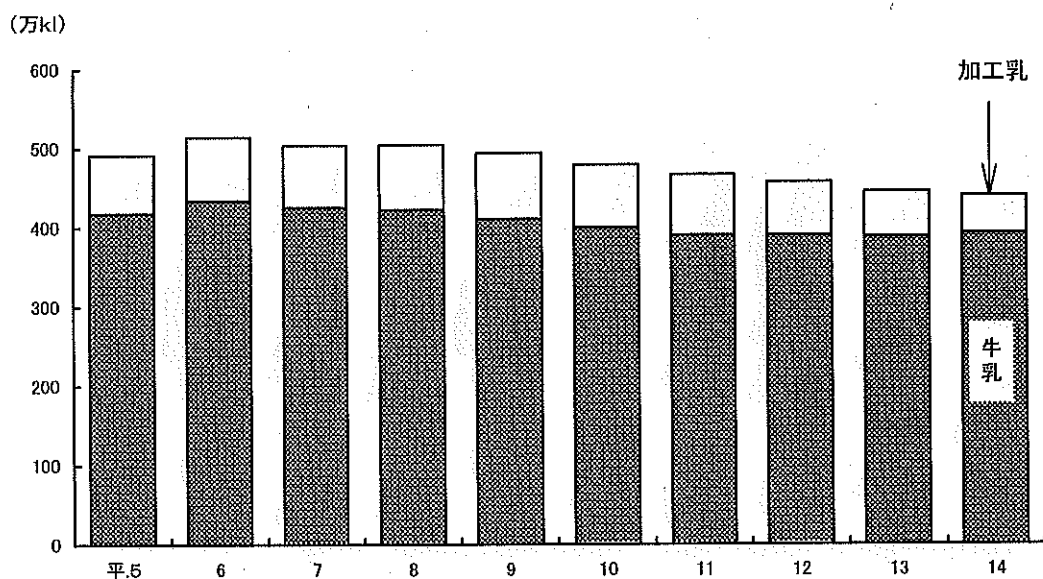
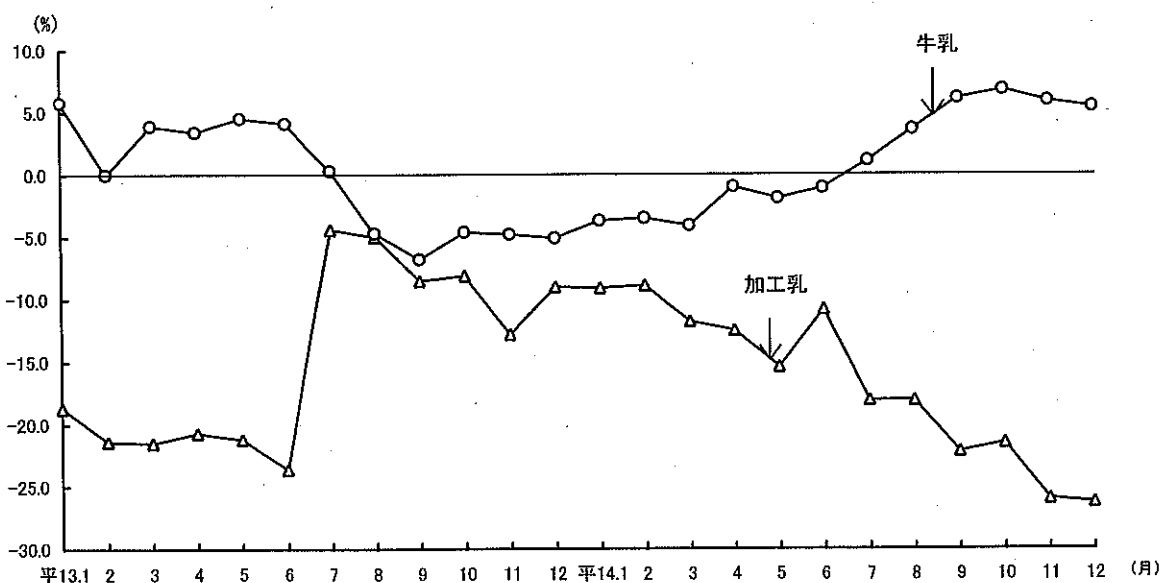


図8 飲用牛乳生産量の前年同月に対する増減率



(2) 農業地域別飲用牛乳生産量

— 関東の飲用牛乳生産量シェアは31.5% —

飲用牛乳生産量を農業地域別にみると、関東が138万5,014kl（全国に占める割合31.5%）で最も多く、次いで近畿が58万2,165kl（同13.2%）、東海が46万5,693kl（同10.6%）となっている。

なお、この3地域で全国の約6割を占めている。

また、農業地域別に平成9年と飲用牛乳生産量を比べると、北海道を除き他の地域では減少している。

図9 農業地域別飲用牛乳生産量シェア

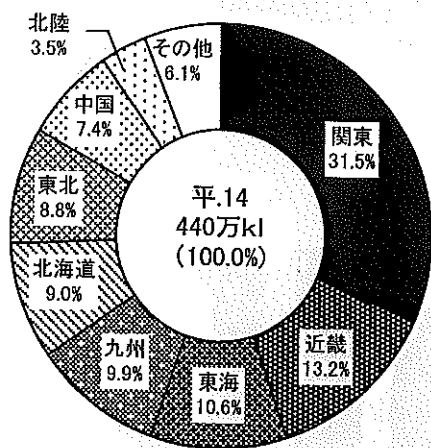
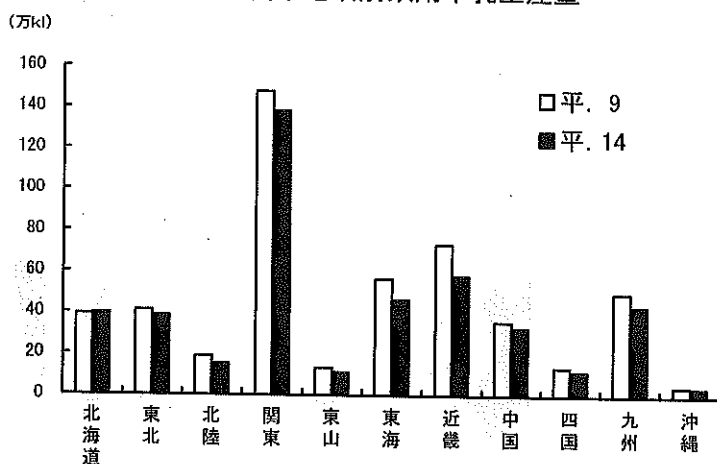


図10 農業地域別飲用牛乳生産量



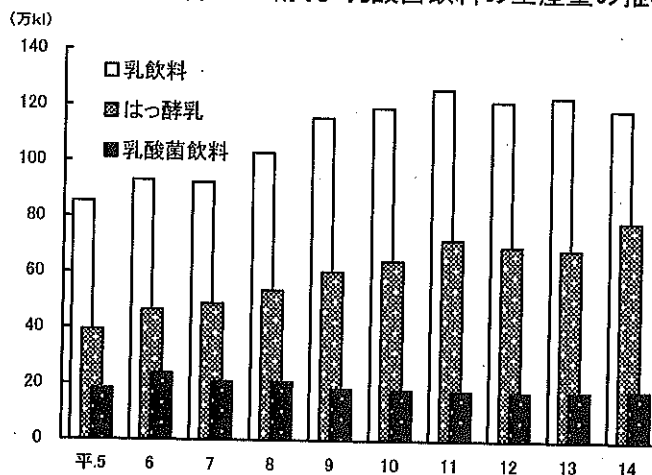
(3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料の生産量

— 乳飲料は3.7%減少、
はっ酵乳は14.6%増加 —

乳飲料の生産量は118万6,886klで前年に比べ3.7%減少し、はっ酵乳及び乳酸菌飲料は78万5,742kl、18万1,992klで、前年に比べそれぞれ14.6%、3.3%増加した。

特に、はっ酵乳は健康志向の高まりにより需要が増加したことから、生産量が大幅に増加した。

図11 乳飲料・はっ酵乳・乳酸菌飲料の生産量の推移



第2表 飲用牛乳等生産量

年次	実数									対前年比				
	飲用牛乳			乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料	飲用牛乳			乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料		
	計	牛乳	加工乳				計	牛乳	加工乳					
平.12	4 571 305	3 894 563	676 742	1 216 225	695 268	173 159	98.0	99.9	88.1	96.6	96.6	97.8		
13	4 450 902	3 875 298	575 604	1 232 180	685 411	176 105	97.4	99.5	85.1	101.3	98.6	101.7		
14	4 399 302	3 919 824	479 478	1 186 886	785 742	181 992	98.8	101.1	83.3	96.3	114.6	103.3		

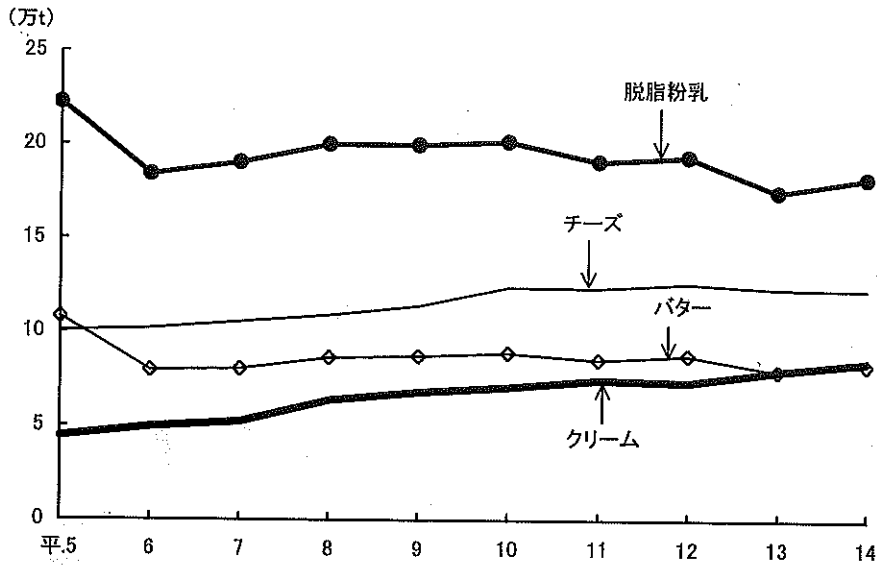
単位 { 実数:kl
対比:%

(4) 乳製品の生産量

— バター、クリーム、脱脂粉乳で増加 —

主な乳製品の生産量をみると、脱脂粉乳は18万2,518 t (前年に比べ4.3%増)、チーズは12万2,787 t (同0.5%減)、バターは8万2,744 t (同4.0%増)となり、クリームは8万4,483 t (同6.0%増)となった。

図12 主要乳製品の生産量の推移



第3表 乳製品生産量

	糖		全粉乳	調製粉乳	バター	クリーム	チーズ	直接消費用 パテュラ/チーズ*	脱脂粉乳		アイス クリーム
	加糖 れん乳	無糖 れん乳							脂糖 れん乳	脱脂粉乳	
平. 12	34 452	1 641	18 331	33 584	87 579	73 370	126 249	15 228	5 353	193 758	108
13	32 117	1 856	17 803	33 465	79 537	79 685	123 412	14 386	5 644	175 071	109
14	30 453	2 452	16 580	37 318	82 744	84 483	122 787	13 692	5 068	182 518	100
対前年比	95	132	93	112	104	106	100	95	90	104	92

単位 { 実数: t
対比: %

4 牛乳処理場数及び乳製品工場数

(1) 規模別処理場・工場数

— 787事業所で前年より7事業所増加 —

平成14年12月末日現在の操業牛乳処理場数及び乳製品工場数は、前年に比べ7事業所増加し、787事業所となった。

これを、経営組織別に前年と比べてみると、「会社」は9事業所増加し、「農業協同組合」が2事業所減少した。

また、平成14年12月の月間生乳処理量規模別にみると、62t未満階層で最も多く増加した。

なお、牛乳処理場及び生乳を処理した乳製品工場のうち、62t未満階層が全体の52.6% (414工場) を占めている。

図14 牛乳処理場数及び乳製品工場数の推移

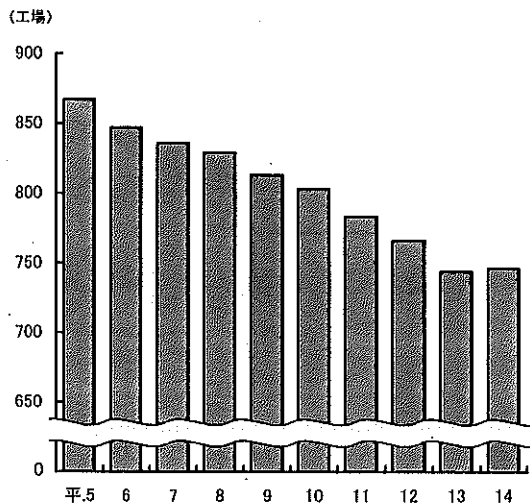
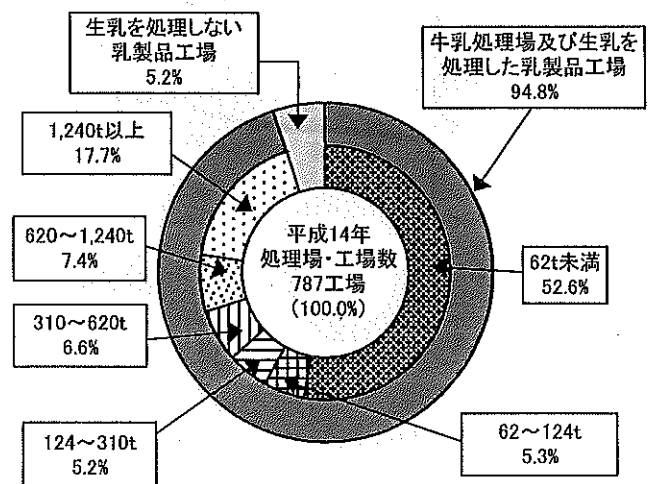


図15 処理場・工場数及び生乳を処理した規模別工場割合 (平成14年12月末日現在)



第4表 全国の牛乳処理場・乳製品工場数

単位:工場数

区分	年次	計	経営組織			12月の月間生乳処理量						生乳を処理しない乳製品工場
			会社	農業協同組合	個人・その他	62t未満	62~124t	124~310t	310~620t	620~1,240t	1,240t以上	
12月末日現在 操業数	平.14	787	506	69	212	414	42	41	52	58	139	41
	13	780	497	71	212	399	43	49	52	63	138	36
	対前年差	7	9	△2	0	15	△1	△8	0	△5	1	5

(2) 農業地域別、製造品目別処理場・工場数

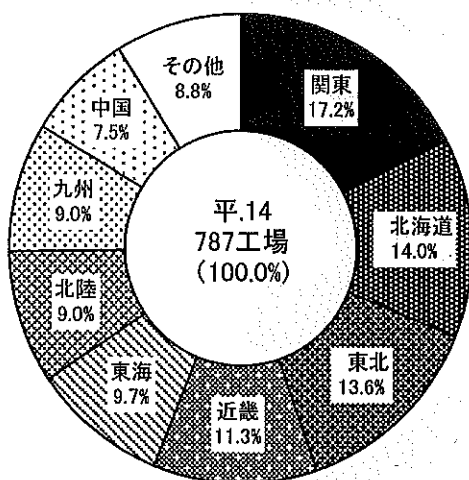
— 関東の処理場・工場シェアは17.2% —

処理場・工場数を農業地域別にみると、関東が135処理場・工場（全国に占める割合17.2%）で最も多く、次いで北海道が110処理場・工場（同14.0%）、東北が107処理場・工場（同13.6%）となっている。

なお、この3地域で全国の約4割強を占めている。

また、平成14年1月から12月に飲用牛乳を製造した実工場数は645処理場・工場で、前年に比べ28処理場・工場（4.2%）減少した。

図16 農業地域別工場処理場シェア



第5表 飲用牛乳と乳製品を製造した処理場・工場数

区分	年次	飲用牛乳			1) れん乳	2) 粉乳	バター	クリーム	チーズ	乳脂肪分8% 以上のアイス クリーム
		計	牛乳	加工乳						
1～12月 操業数	平. 14	645	643	246	50	63	74	82	115	149
	13	673	670	267	58	64	75	88	105	144
	対前年差	△ 28	△ 27	△ 21	△ 8	△ 1	△ 1	△ 6	10	5

単位:工場

注：1)は、「加糖れん乳」、「無糖れん乳」及び「脱脂加糖れん乳」を製造した延べ工場数である。

2)は、「全粉乳」、「調製粉乳」及び「脱脂粉乳」を製造した延べ工場数である。